

八乙女



成人 おめでとうございます

申年をむかえて

南山見公民館長 碓井好彦

新年あけまして、おめでとうございます。
皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

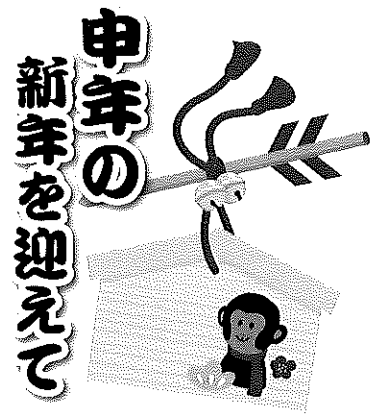
公民館にとつての昨年の大きな出来事のひとつは、南山見自治振興会のご支援をいただいで体育館のステージ幕と放送設備一式を更新したことです。古い幕は、昭和二十七年に「校下一同」から旧南山見小学校に寄贈され、昭和四十五年の井波小学校への統合の際に、公民館が譲り受け、大切に使われてきました。新しい幕の紋章は、中の文字を小学校の「小」から南山見の「南」に変え、デザインや色はそのまま生かして旧紋章を継承することにしました。六十以上の歴史をもつ旧紋章は、額に入れて公民館入口の壁面に飾って、永く残すことにしました。皆様、ご来館の際は、ぜひ、この額をご覧ください。

もうひとつは、不要物の一斉廃棄です。旧土改の建物の中や館内外を片付けて、出てきた可燃物や不燃物は、なんとトラック三台分にもなりました。公民館運営審議会委員の皆さんのご尽力により、各部屋が片付いてきれいになり、とても使いやすくなりました。

今年申年。この「申」には、病や厄が「去る」の云われがあるとのこと。皆様一人ひとりに良い年であることを願うものです。

結びあげし初髪句ふ はたちかな

富田 みゆき



今年（申年）の目標



箭原 涼 太
(平成16年生)

多くの今年の目標は二つあります。一つ目は、強い体を作ることです。それは、去年、「インフルエンザ」がはやり、学年へいさになってしまったからです。

二つ目は、習字です。習っている習字で、先生に教えてもらったことに気を付けて、ベストな字を書いて、学校や、その他の場などでも上手な字を書きたいです。

このような、目標があるのでこの二〇一六年は、去年の倍以上がんばりたいです。

今年（申年）の目標



村松 桃 葉
(平成16年生)

わたしが今年がんばりたい事はバス

ケットボールと国語です。

バスケットボールは、試合で一回は出られるのですが、二回以上は出られないのでリバウンドやディフェンスなどをもっとがんばって、試合に何回も出られるようにしたいです。

わたしは文章を読んで答える問題が苦手です、テストでもペケをつけられる事がたくさんあります。なので、今年国語の力をつけて、文章問題が得意になりたいです。

六年生は学校で最高学年なので、その自覚をもって生活したいです。また、運動会や学習発表会では下級生のお手本になりたいです。

申年（い）の目標



松井 良 剛
(平成4年生)

私は今年で二十四歳になり、三度目の年男を迎えました。昨年度元で就職し、社会人としての道を歩み始めました。これまで私が健康で成長してこられたのは両親、先輩方、学生時代の友人、そして、私が関わったすべての方々のおかげであり、大変感謝しております。年男を迎えるにあたり目標をもってさらに成長していきたいと考えております。

今までお世話になった方々への恩返しも含め「立派な社会人になる」を目標にしたいと思えます。「立派な社会人」とは曖昧な表現ではありませんが、まずは、朝が弱いので早起き！そして仕事は学生のように簡単に休めないの体調管理！仕事の面では覚えるだけ

ではなく、それに対してもっと良い方法がないかなど、自分の意見や考えをもっと取り組んでいきたいと思えます。

充実した日々を



澤田 聖 子
(昭和55年生)

この依頼を受け、何気なく年を重ねてきた私にとってこれからの自分自身を見つめ直す良い機会になりました。

近年は、仕事、家事と子育てであったという間に月日が流れていきます。両立「両方とも支障なく成り立つこと（三省堂）」という言葉がありますが、私にはとても難しく仕事中心の生活になっておりました。そのため、家族にはいろいろと助けてもらい、日々感謝しております。

そこで、今年は少しでも両立に近づける様に家族の負担を減らし、子どもとの関わりを多くし、楽しい思い出をたくさん作っていききたいです。

日常を大切に



直江 裕 之
(昭和43年生)

この度、五度目の申年を迎えたことに加え、その次は還暦を迎えることになるのかと思うと本当に月日のたつのが早く感じられます。社会の変化のスピードも益々早くなっている中、我が家から臨む八乙女山の稜線や田園風景だけが、私の小さかった頃から変わっ

ていないのは、私の中で何かほっとするような感じがあります。現在も世界のどこかで紛争や災害が起こっていませんが、これまで、家族みんなが、病气やけが、さらに事件や災害に遭うこともなく、何気ない日常が送れていることに感謝するとともに、これからもこの日常を大切にしていきたいです。

心機一転



田中 一 昭
(昭和31年生)

還暦を迎え、第二の人生を楽しく豊かに歩んでいくために、心機一転、次のような目標を立てました。

まず、残り一年三ヶ月となった教職を悔いの残らないように、全力でやり遂げることで、地域の仕事も頑張ります。

次に、元気がだけ取り柄の私にとつて、趣味のスポーツのレベルアップです。ソフトボールで全国大会出場、ゴルフでシングルプレーヤーを目指します。

最後に、家族のことです。娘に子供ができ、息子も結婚しました。妻と共に、子供たちや孫と過ごす時間を増やしたいと思えます。親孝行も忘れてはいけません。

人との関わりを大切にしながら、感謝の気持ちを持たず、日々努力しよう、決意を新たにしています。



還暦を迎えても頑張る



村松 春美
(昭和31年生)

時間がたつのは本当に早く、もう還暦となりました。
昔は、還暦の方は落ち着いた貫禄を感じていたものでした。
今、還暦を迎えてみると、まだ未熟です。
しかし、元気なパワーはまだまだ負けないつもりです。

これからも、ビーチボールなどに頑張つて参加していきたいと思っています。
このように過ごせているのは、地域や職場の方々、そして家族の支えがあったからだと感じています。

これからは、家族共々、健康に気をつけて、楽しく有意義に過ごしていきたいと思っています。

この節目の機会を、新たな人生の始まりとして、いろいろな事に興味を持ち、一歩ずつでも、昔感じていた還暦のイメージに近づけるように努めたいと思います。

健康法？



谷田 隆 信
(昭和19年生)

いまままでに、転落・衝突や滑落等を経ておりますが、皆様方や家族のおかけをもちまして、無事に七回目の申年を迎えております。

ここで、新年の挨拶とは違いますが、私の健康法として三例を紹介します。

①毎朝、起床後にコップ一杯の水を飲む(五十年ほど前に、先輩から肥満対策として指導された)。現在も、十年間で二kgの減量がコンスタントに継続中です。

②仕事は一回での完全性を求めない。不備の箇所があれば、その都度修正すればよい。

③二者会談。発声から低血圧の解消、唾液の潤沢化、優越感の達成、そういえばから始まる歴史探訪……その後の静寂、無言の反省 このサイクルの気分転換です。

通りがかりに③の状態に遭遇されたら、ああこれがこの家の健康法かと理解してください。御心配は無用です。

家族とともに



瀧田 孝子
(昭和19年生)

月日のたつのは早いもので、古希もすぎ、七回目の申年を迎えました。

縁あって南山見に嫁いでもうすぐ五十年。家では、七十五歳から一歳までとにぎやかです。孫たちと、トランプやかるたを楽しんだり、下の子の世話をしたり……。

これも家族に助けられ、地域の皆様に支えて頂いて、「ここまでやってこれた」と感謝しています。

昨年のお漢字は「安」でした。家族や地域の方々が安心して暮らしていけるように微力ながら努力していきたいと思えます。

元気で社会に参加



横江 勇
(昭和19年生)

わが家には三人の申年の年女・年男が居ます。大正生まれの母、昭和生まれの私、平成生まれの孫。皆元気に過ごしています。

思えばもう七十歳をすぎ、いろいろな地域の仕事をし、会社勤めは現役でさせてもらっています。

私の一番の楽しみは、毎年行われる「井波よいやさ祭り」です。みこしの担ぎ手から力者頭まで、五十六年間お世話させて頂いて頂いています。正月がくると、すぐに祭りの事が頭に浮かびます。祭りは心も身体もみなぎる元気の源です。現在は息子が力者頭ですが、私はみんながケガのない様、元気に終わります様にと見守りに徹しています。

ここ五年は、私と息子と孫と、三人で参加させて頂いて頂いています。元気で続けてこれたのも、家族の支え・地域のみなさんの助けがあったからだと思えます。本当に有難うございます。今年も皆様に良い事があります様に。

夕日を仰ぐ



箭原 幸子
(昭和7年生)

今年八回目のえと、申を迎えました。おかげ様でこれまで、大病もなく、田畑を耕し元気で過して来ました。

今は、朝仏様にお参り、裏のお宮様にお参り、近くを散歩、新聞を見た、好きな本を読んだり、テレビを見、お天気の良い日は、茶の間から西の山に沈むきれいな夕日を仰ぐのが、私の一日です。

孫夫婦やひ孫達も時々遊びに来て「幸子ばあちゃん」と声をかけてくれるのが、なによりの楽しみで。

最近腰を痛め、歩くのが少しおっくうになって来ましたが、今日までいただいたご恩に感謝し、余生を大事に過ごしていきたいと思う毎日です。

申年の新年を迎えて



須川 茂 信
(昭和7年生)

お陰様で八回目の申年の新年を元気で迎える事ができました。

昨年は、戦後七十年の年、思えば過ぎた日は早いもので、昭和十六年十二月八日の開戦の日が鮮明に頭に残っています。大東亜戦争です。そして、昭和二十年八月十五日敗戦の体験です。

あの頃を思い返してみますと、平和な現在の豊かな生活に深く感謝しなければならぬと思っております。

また、昨年は台風の影響で九月十一日に茨城県常総市鬼怒川地区に集中豪雨で、河川の氾濫被害の復興の遅れなどいろいろ大変な事が有りました。

一日も早く穏やかな日々を送れる事を願っております。

最後に、残された人生を大切に健康で生活を送り、十分気をつけて暮らしていきたいと思えます。

11月15日(日)八乙女文化祭が開催されました。

当日は、雨模様の肌寒い日でしたが、地区内外から沢山の方々に公民館へ訪ねていただき、なごやかに行われました。

今年度は、開会式の後、防災会講演会で南砺消防署井波庄川出張所消防司令高橋幸一氏による、消防・防災に関する講演がおこなわれ、改めて一層の防災意識が向上されたことと思います。

ステージ発表では保育園の子供たち、各児童クラブ、ピアノ教室の発表、と小さな子供たちが一生懸命に練習した成果を元気よく発表しました。午後からも、各グループの踊りや大正琴や三味線などの披露があり、やさそば、豚汁、お菓子など食べながら大盛況でした。

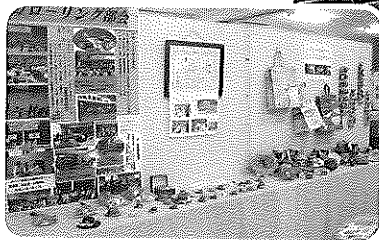
今年度からステージの幕も新しくなり、初めて目にした方もいらっしゃいました。公民館入り口には、前のステージ幕に付いていた旧南山見小学校の校章の部分が大きな額に入れられて展示されていました。館内では、各種団体の活動発表や作品展示、農産物の品評会、各模擬店等、大豆の数当てクイズや防災会で用意された炊き出し用の大なべも披露し、終始賑やかな雰囲気なかでの交流の一日でした。来年は、公民館設立七十周年です。一日を通して一番多くの地域の方々が集まっていただけこの文化祭、みなさんで盛り上げていきたいものです。



(壮年部 松村 勉)



「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、ステージ幕、紅白幕、放送機器を新調しました。だんだんと少子高齢化が進む中ですが、三十八年間続いている地区文化祭や八乙女フェスティバルなど、今後も工夫しながら継続、展開し、地区住民の皆さんのご協力をいただきながら、活発な交流を図っていききたいと思えます。第三十八回八乙女文化祭では、町内会長さんや各種団体の皆さんが協力して、新しいステージ幕・紅白幕を張りました。(事務局)



新年の集い

一月四日午後三時より、

南山見地区恒例の「新年の集い」が例年より多い参加者のもと、南山見公民館に於いて盛大に開催されました。

今年も川原井波行政センター長・才川市議をはじめ多数のご来賓をお招きいたしました。

まず始めに、松田自治振興会長の挨拶で本年は南砺市市議選があるとのこと。この地区から出ている才川市議の四期目に向けて、地区の皆様協力してほしいとのお願い



がありました。そのあと、碓井公民館長の乾杯で祝宴が始まり、各テーブルで昨年度あった出来事など、終始和やかな雰囲気

で、皆さんも時間のたつのも忘れて歓談されておられました。

今年も南山見自治振興会が中心となって南山見地域が健康で充実した、災害のない一年を過ごせるよう全力で取り組んで行きたいと思えます。

(自治振興会 岩崎孝進)

花壇づくりとクリスマス会



児童クラブでは、昨年12月13日(日)南山見公民館にて、花壇づくりとクリスマス会を行い、約40名の児童たちが集まりました。

この時期としては比較的暖かい日となった当日、まず中学年の児童たちが、地域に住む「花と緑の銀行」のみなさんの指導を頂きながら、花壇にチューリップの球根を手際よく植えました。一方、低学年の児童たちは、ホールでクリスマスツリーに飾り付けするなどして会場づくりの手伝いをしました。

花壇づくりと会場の準備が終わった後は、市議会議員の才川さんや公民館長の碓井さんにも参加していただき、参加者全員でケーキをいただいたり、ピンゴゲーム等をしたり楽しいひと時を過ごしました。

南山見地区の皆様方におかれましては、今後とも引き続き、児童たちの成長を見守って頂き、本活動にご協力頂ければ幸いです。

(児童クラブ 直江 裕之)



少年研修館書道教室 受賞おめでとう

平成二十七年十一月二十八日、二十九日、「金沢市文化ホール」に於いて、第五十九回現代学生競書大会が開催されました。

当公民館少年研修館書道教室も参加いたしました。
成績は次の通りです。(事務局)

富山県知事賞	六年	谷田 咲来
会長奨励賞	六年	岩崎 開登
書学会賞	六年	井上 幹太
特選	五年	井上 莉来
特選	五年	箭原 涼太
金賞	四年	谷田 鍊太郎
金賞	四年	岩崎 陽登
銀賞	二年	岩崎 裕登





Q1 成人を迎えて思うことは?
Q2 南山見地区について思うことは?

一月十日井波総合文化センターにおいて、井波地域成人式が行われました。
 南山見地区からは八名の新成人が出席し、旧友たちとの再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていました。「新成人の集い」実行委員を務めた二人に二つの質問に答えていただきました。



吉田 拓夢
 (院瀬見)

A1 成人式を終え、これからは、一社会人としての自覚を持った行動をしなければいけないと思う。少しでも社会に貢献できるように努力していきたい。
 また、ここまで育ててくれた親への感謝を忘れないように生活していきたい。

A2 心優しい方々の多い地域だと思う。一方で、子供の数は減ってきているのも事実だと思う。なので、数は少ないかもしれないが、僕ら若者がもっと地域を盛り上げていけたらいいと思う。



須川 彩香
 (東城寺)

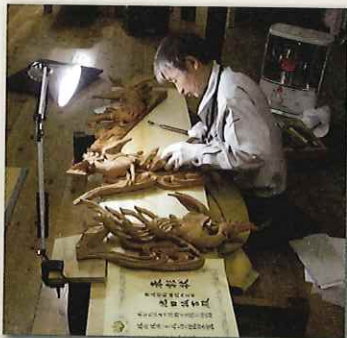
A1 二十歳というくぎりを機に大人としての自覚を持ち、これから責任感のある立派な成人になりたい。

A2 子供が少なくなっていることを聞き、少子高齢化が進んでいることを実感しています。寂しくなっている南山見地区ですが、今まで育った南山見地区の皆様少しでも恩を返せるように活動していきたい。

池田 誠吉さん(沖)が
 経済産業大臣表彰を
 受賞されました。
 おめでとうございます。

伝統的工芸品産業の振興に関し顕著な功労があったとして、伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣表彰(功労賞・伝統工芸士)を受賞されました。

昭和四十九年に北海道富良野から井波彫刻の道に入り、今年で四十二年の月日が経ちました。その間、縁あって南山見の住民となられ、平成六年に伝統工芸士に認定され、数々の作品展において受賞を重ねて来られ、今回の受賞となりました。八日町の工房では、現在、お弟子さんと一緒に高岡御車山の新しい山車の彫刻制作に取り組んでおられ、今後も意欲的に木彫刻に取組んでいきたいとのことでした。
 (事務局)



行事予定

2月14日(日) 午前9時～
 第27回 南山見地区
 「三世代交流の集い」

2月17日(水) 午後7時半～
 平成27年度 公民講座
 「美術よもやま話」

編集後記

昨年末、世相を表す漢字に「安」が選ばれ、世界文化遺産清水寺(京都市東山区)で森清範貫主が揮毫した。森貫主は、本来の意味での安心・安全が訪れるよう心を込めて書いた。

当地では台風等による災害もなく安心・安全に生活させていただいたことに感謝し、今年も希望に満ちた一年になるよう願うものです。
 (S M)

南山見人口

男	476名	(488名)
女	530名	(548名)
計	1,006名	(1,036名)
世帯数	274戸	(274戸)

平成27年12月31日現在
 ()は昨年度 住民基本台帳より